

単元名 文字の大きさと配列、点画のつながり(小筆)

配当時間 9時間

- 単元の目標 (1) 文字の大きさと配列、点画のつながりを理解し、字形を整えて書くことができる。
 (2) 用紙に合わせた配列や小筆の筆使いを考えて書くことができる。
 (3) 自分のめあてを設定し、達成に向けて意欲的に書こうとする。

標準的な展開例

06020202_001

【教材名】『この道や行く人なしに秋の暮』（小筆）／レッツ・トライ 小筆を生かして書く／好きな言葉を書く (P. 26～P. 33)

【準備等】練習用紙、小筆、短冊・色紙・年賀状などさまざまな用紙、まとめ書き用紙、鑑賞カード

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～3 文字の大きさと配列、点画のつながりに気を付けて、『この道や行く人なしに秋の暮』を書く。 ★文字の大きさと配列に気を付けて書こう ○毛筆で『この道や～』を試し書きする。</p> <p>○試し書きと教材を比べて話し合う。</p> <p>○文字の大きさや配列を整えて書くために必要なことを確認する。 ○試し書きを見て自分の課題を決める。</p> <p>○『この道や～』を練習する。</p> <p>○まとめ書きをし、自己評価・相互評価をする。</p> <p>4～5 小筆を学習や生活の中で生かす。 ★筆使いと配列に気を付けて、小筆で書こう ○用紙を選択して、『この道や～』を試し書きする。</p> <p>○自分のめあてを設定する。</p> <p>○めあてに合った練習用紙を使って練習する。</p> <p>○好きな用紙に自分で選んだ俳句や文を書く。</p> <p>○自己評価・相互評価をする。</p> <p>6～9 好きな言葉を選び、自分のめあてを達成できるように書く。 ★6年間で学習したことを生かして、好きな言葉を選んで書こう ○『実現』『夢』『仲間』『友情』の中から、自分が書きたい言葉を選ぶ。 ○ワークシートに、言葉を選んだ理由を書く。</p> <p>○試し書きをする。 ○それぞれの文字の基準について話し合う。</p>	<p>・板書等で示し、教科書を見ないで書くようにさせる。</p> <p>・教科書P. 27の「考えよう」を参考にし、配列を整えて書くためのポイントについて、気付いたことを話し合わせる。</p> <p>・教科書P. 27の「ここが大切」で基準を確認する。</p> <p>・試し書きに、文字の大きさ・中心線・行間・余白など、気を付けることを赤で書き込ませる。</p> <p>・自分の課題をつかむことができているか確認し、指導・助言する。</p> <p>・余白部分を線で区切るなどした練習用紙を用意しておき、自分のめあてに合わせて選ばせる。</p> <p>・教科書を参考にして、点画と点画がどうつながっているかを確認させる。 ①次の画や線につながるように、点画と点画のつながりを意識して書く。 ②つなげる気持ちが途切れないように、途中で墨を付けないで、できるだけ続けて書く。</p> <p>・隣席同士で、互いのよい点を認め合えるようにする。</p> <p>【評】作品を通して、文字の大きさや配列、点画のつながりに対する「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教科書P. 28の あ・い・う の大きさに切った用紙を用意し、選択させる。</p> <p>・教科書P. 28の①～③の中からいちばん苦手な項目を選択させる。</p> <p>・補助線の入った練習用紙を用意したり、教科書P. 28のように、児童自身に作成させたりして、よりよい練習に取り組ませる。教科書に補助線を入れるなどするのもよい。</p> <p>・年賀状の裏面や色紙、短冊など、自分が書きたい用紙を用意させておく。</p> <p>・小筆の筆使いや配列など、学習したことを生かして書くようにする。</p> <p>【評】作品を通して、用紙に合わせた配列や小筆の筆使いについての「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・隣席同士で互いの作品を鑑賞し合い、よい点を賞賛し合えるようにする。</p> <p>・日常生活の様々な場面で小筆を生かしていけるよう声掛けをする。</p> <p>・6年間のまとめであり、自分でめあてを決めて学習を進めることを伝える。</p> <p>・「選んだ文字」「選んだ理由」「自分のめあて」が書けるワークシートを用意しておく。</p> <p>・教科書は見ずに試し書きをさせる。</p> <p>・同じ文字を選んだ児童で4人程度のグループを作り、気を付ける点を話し合い、確認する。</p>

- 自分のめあてを書く。
- 各自で工夫して，練習する。

○まとめ書きをして，自己評価をする。

○発表会をする。

- ①『実現』…左右の組み立て方と点画のつながり
 - ②『夢』…三つの部分の組み立て方
 - ③『仲間』…左右，中と外の組み立て方と配列
 - ④『友情』…用紙に対する文字の大きさ
- ・ワークシートに記入する。
 - ・グループで助言し合うようにする。
 - ・これまでに学習してきた練習用紙を参考にして，自分に合った練習用紙を作成するよう助言する。
 - ・随時，グループ内で助言し合う時間を設けるその際，新たな自分のめあてを設定させてもよい。
- 【評】練習を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
- ・教科書・試し書き・まとめ書きを比較して，自己評価させる。
- 【評】作品を通して，基準に対する「知識・技能」を評価する。
- ・「選んだ理由」「自分のめあて」を発表させる。
 - ・鑑賞カードを用いて，感想等を交流させる。

【 備 考 】